

鳥羽市

人権に関する市民意識調査

調査結果報告書

令和7年10月

鳥羽市

目次

I 調査概要.....	1
1 調査の目的	1
2 調査内容	1
3 調査対象及び調査方法.....	1
4 調査票の回収状況.....	1
5 標本誤差	2
6 報告書の見方.....	2
II 調査結果.....	3
あなた自身のことについて	3
【1】女性の人権について	7
【2】子どもの人権について	8
【3】高齢者的人権について	9
【4】障がい者の人権について	10
【5】部落差別（同和問題）について	11
【6】外国人の人権について	16
【7】患者等の人権について	18
【8】犯罪被害者等の人権について	19
【9】インターネットによる人権侵害について	20
【10】性的マイノリティの人権について	21
【11】さまざまな人権について	22
【12】人権問題解決に向けて	23

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、鳥羽市が平成 27 年度に策定した「鳥羽市人権施策基本方針（改訂）」の第二次改訂にあたり、人権施策推進事業を効果的に進めるための基礎資料とすることを目的として、実施したものである。

2 調査内容

- ・あなた自身のことについて
- ・さまざまな人権について（女性、こども、高齢者、障がい者、部落差別（同和問題）、外国人、患者等、犯罪被害者等、インターネット、性的マイノリティ、さまざまな人権）
- ・人権問題解決に向けて

3 調査対象及び調査方法

- ①調査地域
 - ・鳥羽市内
- ②調査対象者
 - ・鳥羽市に在住する 16 歳以上の男女
- ③標本数
 - ・500 名
- ④標本抽出方法
 - ・単純無作為抽出
- ⑤調査期間
 - ・令和 7 年 8 月 1 日から令和 7 年 9 月 12 日
- ⑥調査方法
 - ・郵送配布、郵送回収、WEB 回答

4 調査票の回収状況

標本数	500 (100.0%)
郵送回収数（率）	113 (22.6%)
WEB 回収数（率）	29 (5.8%)
合計有効回収数（率）	142 (28.4%)

5 標本誤差

この調査は、母集団である 16 歳以上の全市民から一部の標本を無作為に抽出して行いました。この調査結果からもとの全体の値を推定する標本調査です。この“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差です。今回の調査では下記の式で標本誤差を求めることができます。

$$\text{標本誤差 } \sigma = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}}$$

P: 回答率(%) n: 有効回収数(件)

以下の表は、上式に n と P の値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

信頼度 95% (100 回中 95 回はこの範囲に収まる) の場合

有効回収数 (件)	回答率 (%)										
	5% (95%)	10% (90%)	15% (85%)	20% (80%)	25% (75%)	30% (70%)	35% (65%)	40% (60%)	45% (55%)	50% (50%)	
全体	142	3.7	5.0	6.0	6.7	7.3	7.7	8.0	8.2	8.3	8.4

この表の見方について例を挙げると、「全体の回収数が 142 人であり、ある設問の 1 つの選択肢の回答率が 50% であった場合、全数調査との誤差の範囲は 95% の確率で ±8.4% 以内であり、実際の回答率は 41.6%～58.4% の範囲にある」と意味づけられるものです。

6 報告書の見方

- ・グラフ・表中の「n」はアンケートの有効回収数を示しています。
- ・比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%を超える場合があります。
- ・グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、選択肢の文章を簡略化してある場合もあります。
- ・回答者数が20未満の項目については参考程度とし、コメントを省略しています。
- ・「n」は有効回収数から無回答を除いた値となっています。そのため、今回の集計は無回答を除いて集計し、グラフを作成しています。
- ・クロス集計の場合も無回答を除いているため、クロス集計の有効回収数の合計と単純集計(全体)の有効回収数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことと、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

II 調査結果

あなた自身のことについて

Q1. あなたの性別は。

回答者の性別は、「男性」が 51.4%、「女性」が 47.9%、その他・空白が 0.7%である。

図表 1 性別 (n=140, 単位 : %)

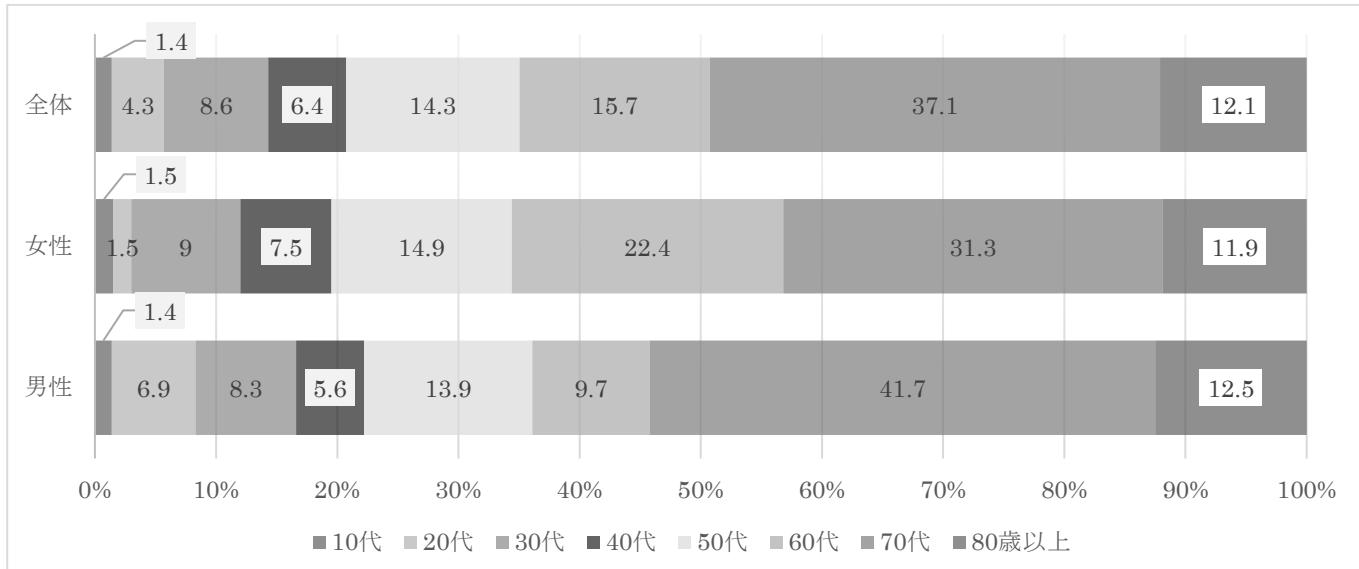


Q2. あなたの年齢は。

回答者の年代は、「70 代」が 37.1%と最も高く、次いで「60 代」が 15.7%、「50 代」が 14.3%となっている。

性別でみると、女性は「70 代」が 31.3%と最も高く、次いで「60 代」が 22.4%、「50 代」が 14.9%となっているのに対して、男性は「70 代」が 41.7%、次いで「50 代」が 13.9%、「80 歳以上」が 12.5%となっている。

図表 2 年代 (全体 n=140 女性 n=67 男性 n=72, 単位 : %)



Q3. これまでに人権講演会や学習会に参加したことはありますか。

「何回も参加」が 15.6% で、「1~2 回参加」が 17.7%、「参加したことがない」が 66.7% となっている。

図表 3 人権講演会への参加 (n=141, 単位 : %)

■何回も参加 ■1~2回 ■参加したことない

Q4. 人権が侵害されたと感じたことはありますか。

「おおむね 10 年以内にある」と回答したかたが 16.8%、「おおむね 10 年以上前にある」と回答したかたが 17.5% に対し、「ない」と回答したかたは 68.6% となっている。

図表 4 人権が侵害されたと感じたこと (n=137, 単位 : %) ※複数回答

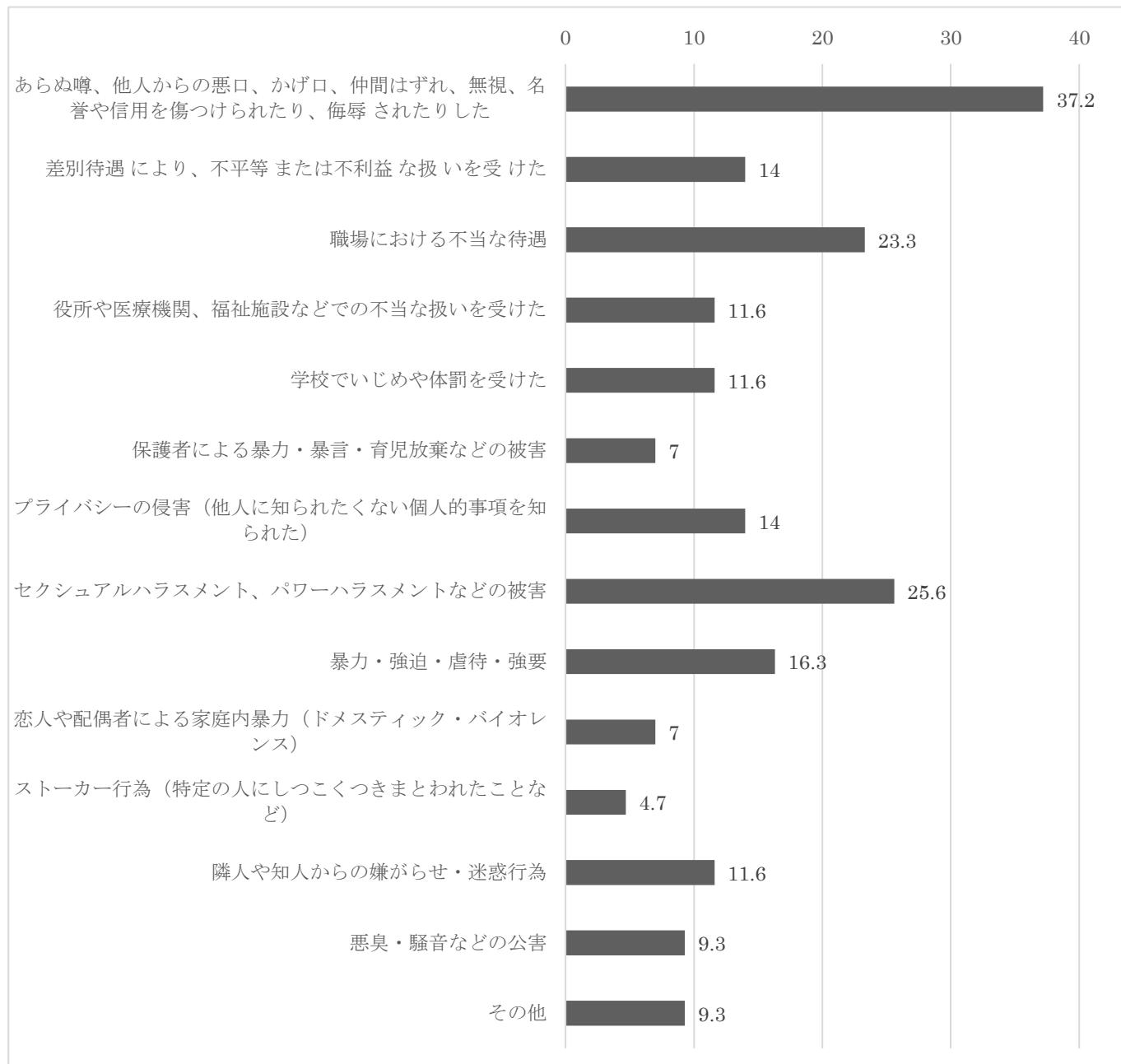
■おおむね10年以内にある ■おおむね10年以上前にある ■ない

Q5. どのようなことで人権が侵害されたと感じたか。

「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口、仲間はずれ、無視、名譽や信用を傷つけられたり、侮辱されたりした」と回答したかたが 37.2%と最も多い、次いで「セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントなどの被害」と回答したかたが 25.6%、「職場における不当な待遇」と回答したかたは 23.3%となっている。

「その他」では、“上司から言うべきではない内容を言われた” “選挙の一票の格差” “非社会的組織による不法行為” “不法駐車”などの回答があった。

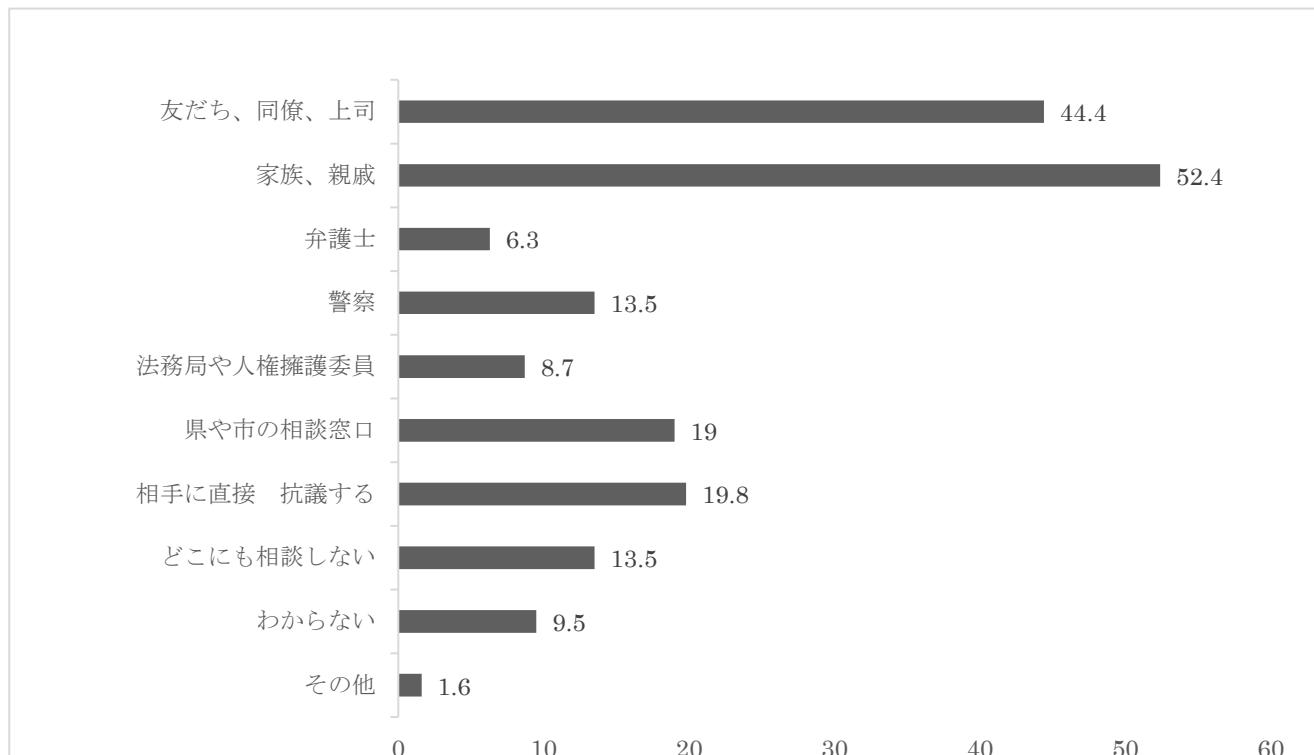
図表 5 人権が侵害されたと感じたこと (n=43, 単位 : %) ※複数回答



Q6. 自分の人権が侵害されたと感じたとき、どこへ相談しますか。

「家族、親戚」と回答したかたが 52.4%と最も多く、次いで「友だち、同僚、上司」と回答したかたが 44.4%、「相手に直接抗議する」と回答したかたは 19.8%となっている。

「その他」では、“労働基準局” “内容による” という回答があった。

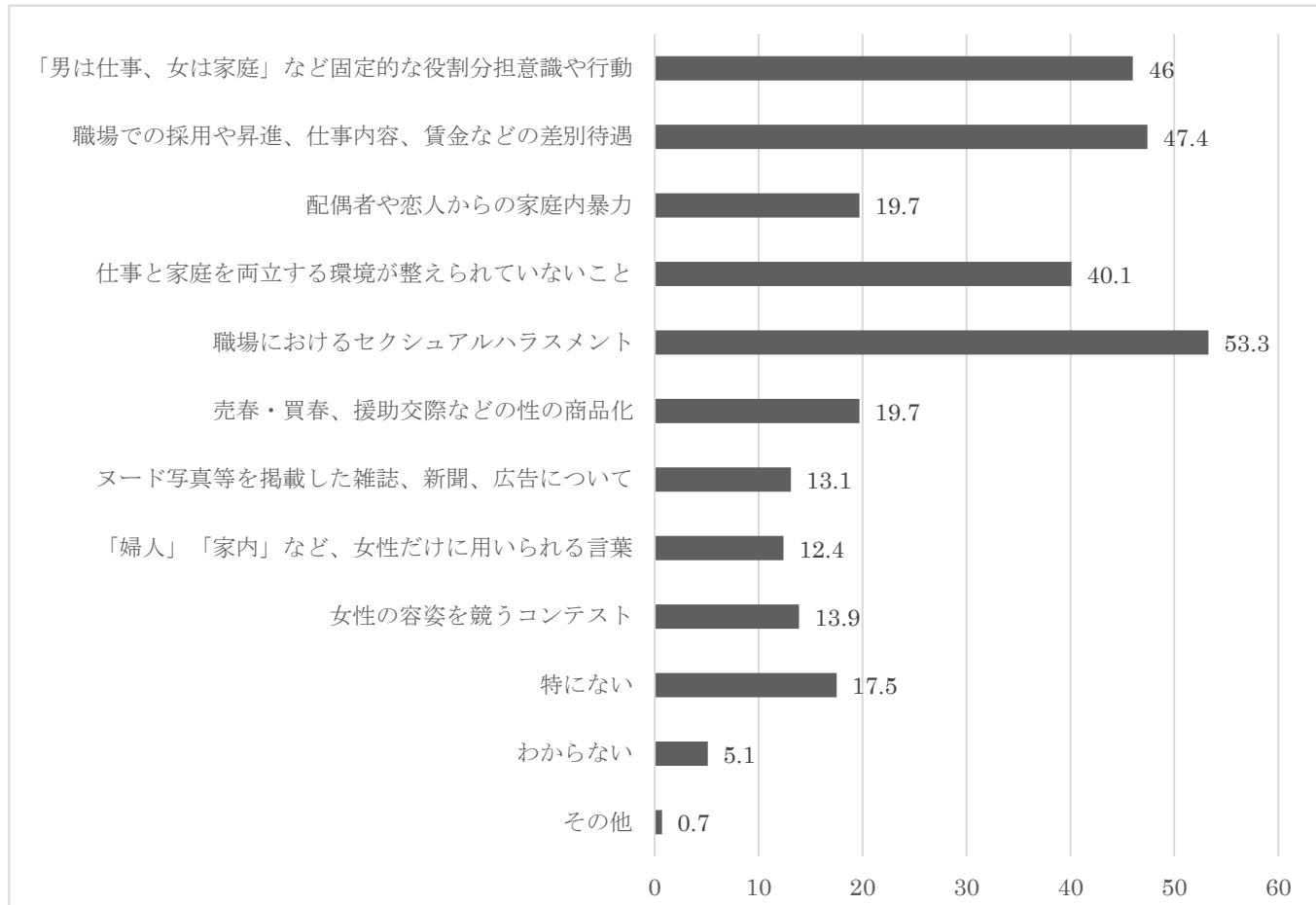
図表 6 相談するところ (n=126, 単位 : %) ※複数回答

【1】女性の人権について

Q7. 女性の人権が尊重されていないと感じる事柄はどのようなことですか。

女性の人権が尊重されていないと感じる事柄については、「職場におけるセクシュアルハラスメント」が 53.3%と最も高く、次いで「職場での採用や昇進、仕事内容、賃金などの差別待遇」は 47.4%、「『男は仕事、女は家庭』など固定的な役割分担意識や行動」は 46.0%となっている。

図表 7 女性の人権が尊重されていないと感じること (n=137, 単位 : %) ※複数回答

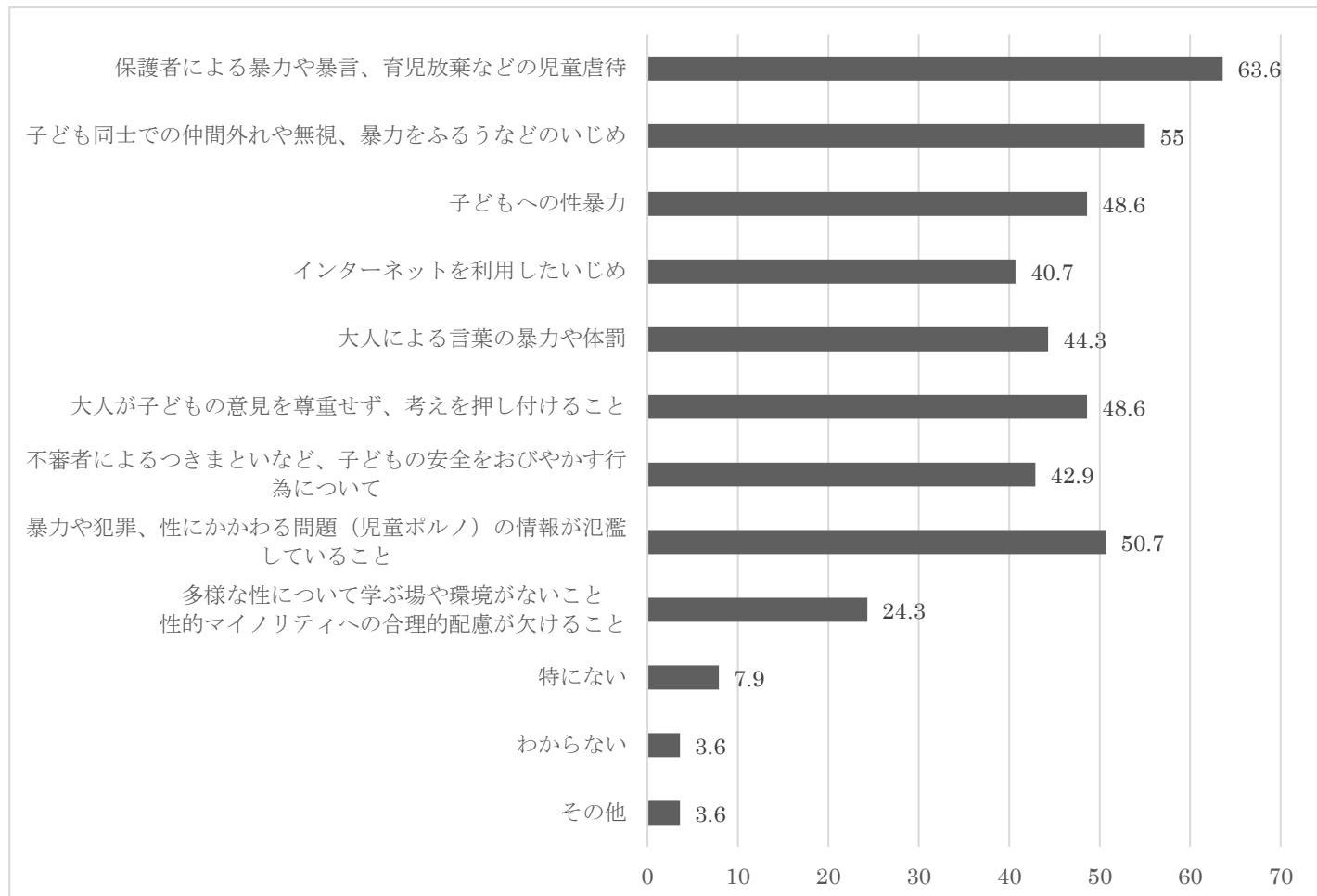


【2】子どもの人権について

Q8. 子どもの人権が尊重されていないと感じる事柄はどのようなことですか。

子どもの人権が尊重されていないと感じる事柄については、「保護者による暴力や暴言、育児放棄などの児童虐待」が 63.6%と最も高く、次いで「子ども同士での仲間外れや無視、暴力をふるうなどのいじめ」は 55.0%、「暴力や犯罪、性にかかわる問題（児童ポルノ）の情報が氾濫していること」は 50.7%となっている。

図表 8 子どもの人権が尊重されていないと感じること (n=140, 単位 : %) ※複数回答

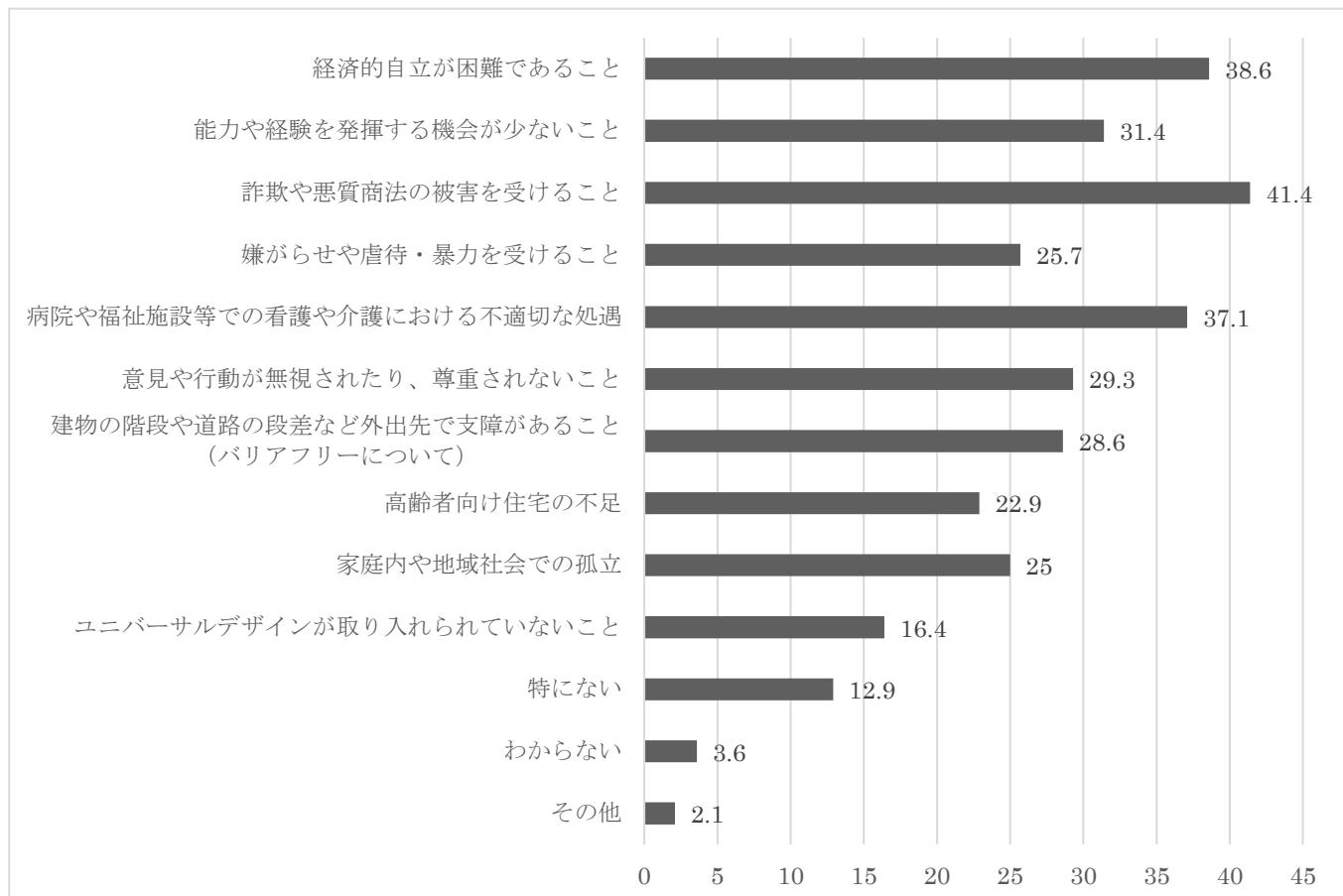


【3】高齢者の人権について

Q9. 高齢者的人権が尊重されていないと感じる事柄はどのようなことですか。

高齢者的人権が尊重されていないと感じる事柄については、「詐欺や悪質商法の被害を受けること」が41.4%と最も高く、次いで「経済的自立が困難であること」は38.6%、「病院や福祉施設等での看護や介護における不適切な処遇」は37.1%となっている。

図表9 高齢者的人権が尊重されていないと感じること (n=140, 単位: %) ※複数回答

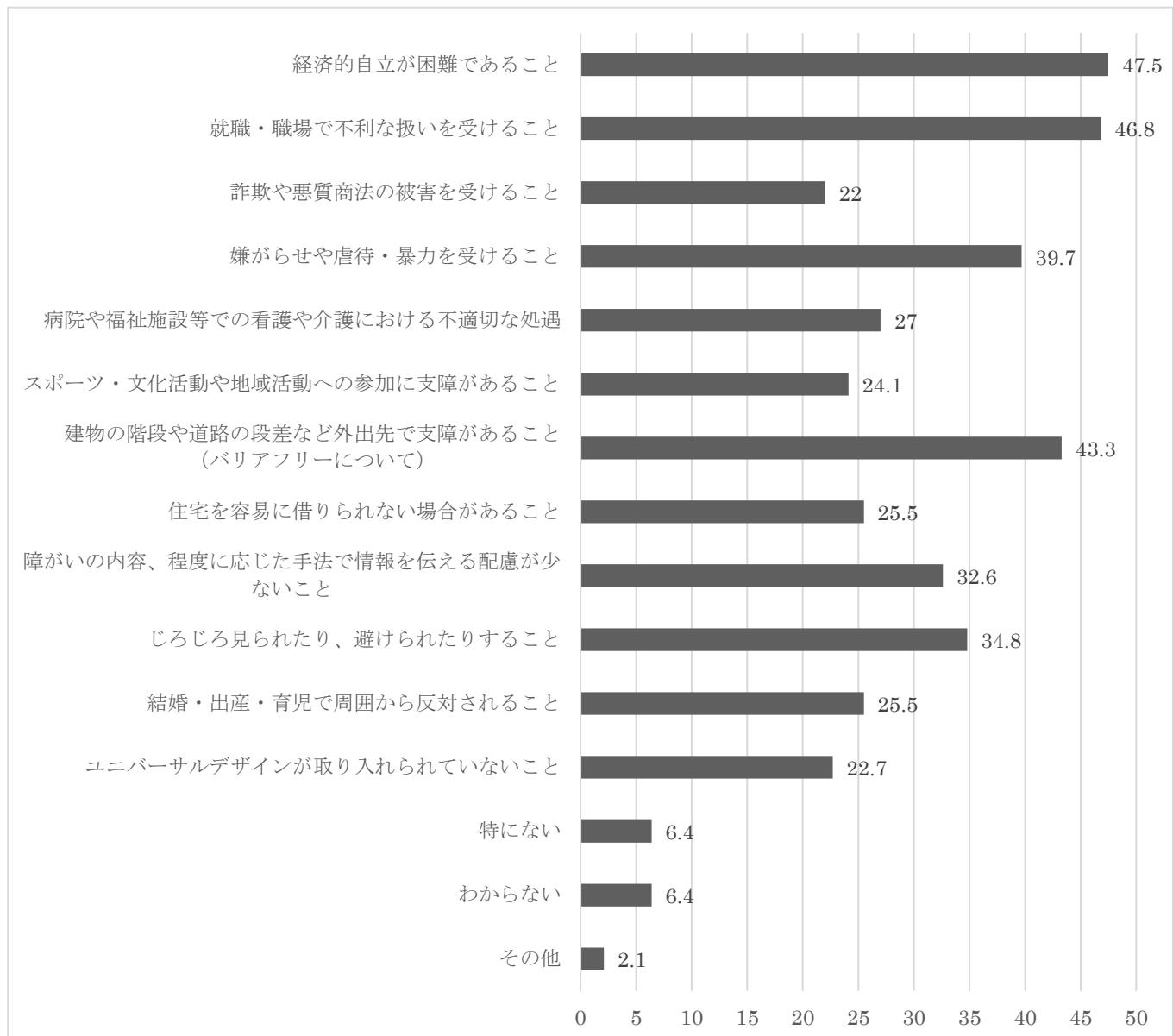


【4】障がい者の人権について

Q10. 障がい者の人権が尊重されていないと感じる事柄はどのようなことですか。

障がい者の人権が尊重されていないと感じる事柄については、「経済的自立が困難であること」が 47.5% と最も高く、次いで「就職・職場で不利な扱いを受けること」は 46.8%、「建物の階段や道路の段差など外出先で支障があること（バリアフリーについて）」は 43.3% となっている。

図表 10 障がい者の人権が尊重されていないと感じること（n=141, 単位：%）※複数回答



【5】部落差別（同和問題）について

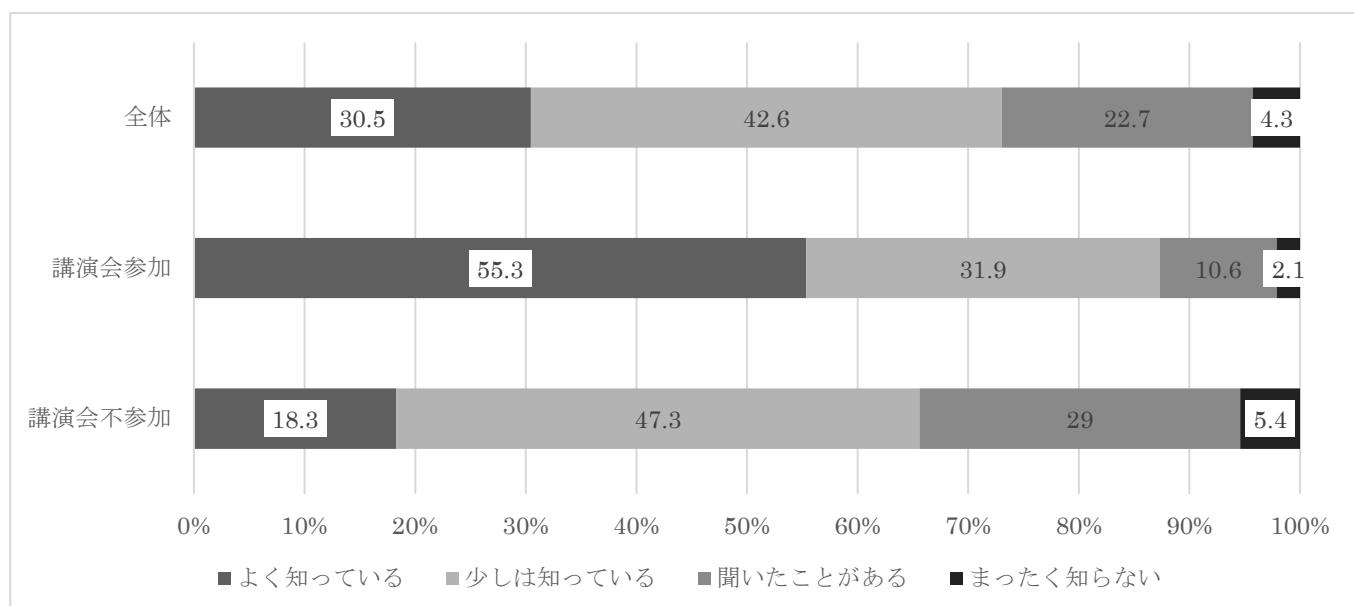
Q11. あなたは、日本の社会に「被差別部落」や「同和地区」と呼ばれるところがあり、 その出身であることや、そこに住んでいるだけの理由で差別される人権問題があることを知っていますか。

「少しあは知っている」が 42.6%と最も高く、次いで「よく知っている」は 30.5%、「聞いたことがある」は 22.7%、「まったく知らない」は 4.3%となっている。

人権講演会に参加経験のある方とない方を比較すると、参加経験のある方は「よく知っている」「少しあは知っている」と回答した方の合計が 87.2%であるのに対して、参加経験のない方は 65.6%であることから、人権講演会に参加経験がある方は比較的に認知度が高いことが分かる。

図表 11 部落差別の認知度

(全体 : n=141 講演会参加あり : n=47 講演会参加なし : n=93, 単位 : %)

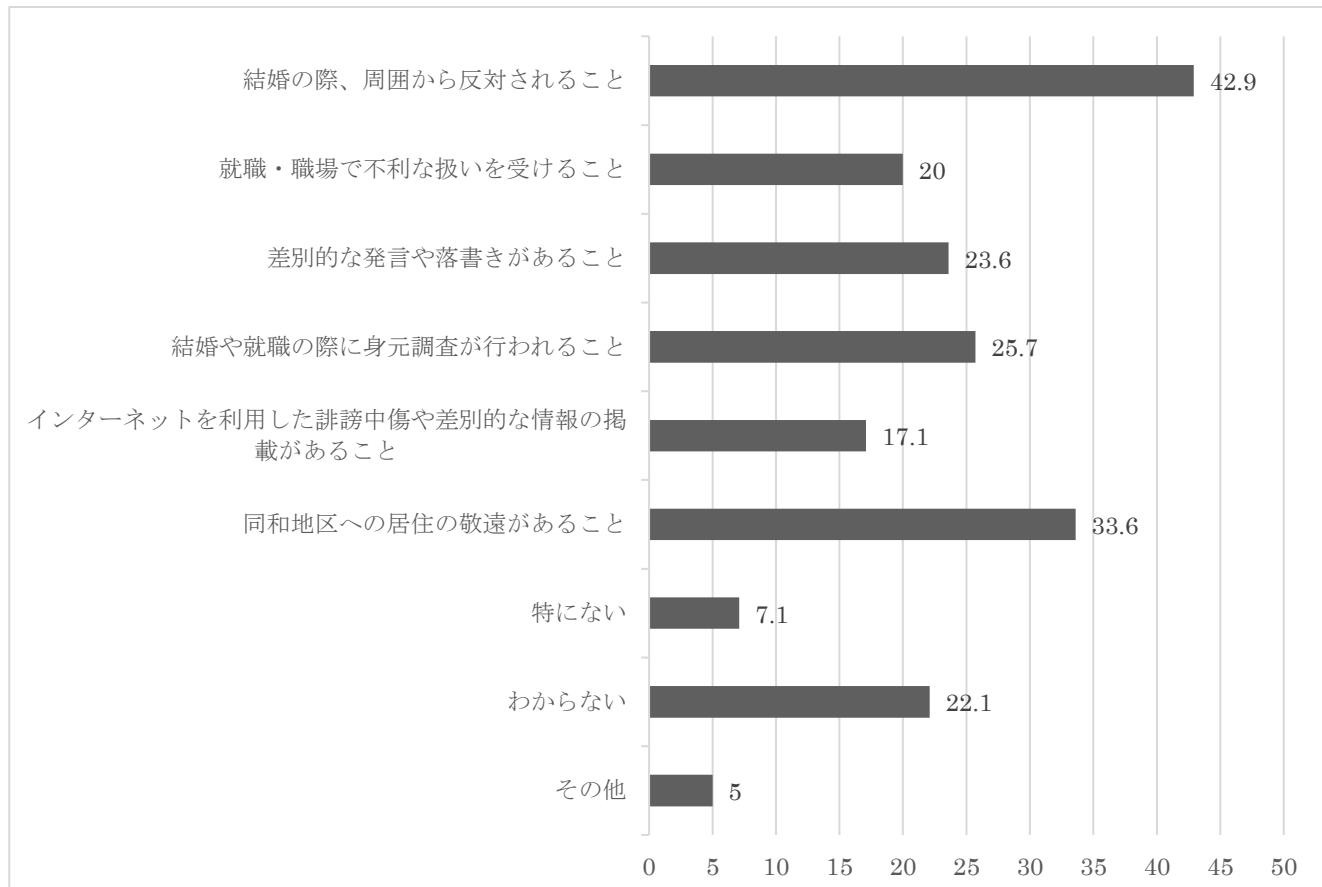


【5】部落差別（同和問題）について

Q12. あなたが、部落差別（同和問題）に関することで、人権が尊重されていないと感じる事柄はどのようなことですか。

同和問題で人権が尊重されていないと感じる事柄については、「結婚の際、周囲から反対されること」が42.9%と最も高く、次いで「同和地区への居住の敬遠があること」は33.6%、「結婚や就職の際に身元調査が行われること」は25.7%となっている。

図表 12 同和問題で人権が尊重されていないと感じること (n=140, 単位 : %) ※複数回答



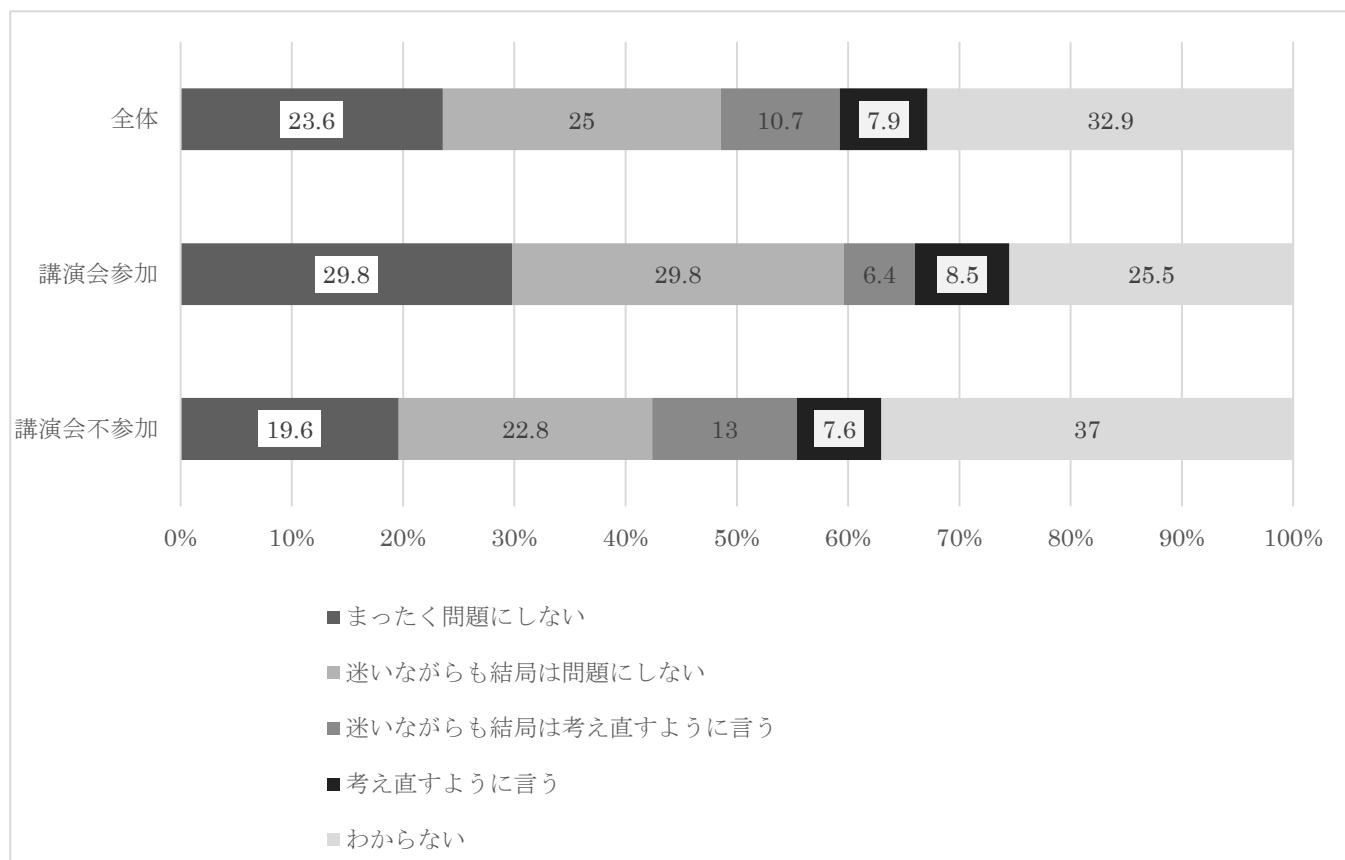
Q13. 僕に、あなたに子どもがおり、子どもの結婚相手が同和地区の方と分かったとき、あなたはどうしますか。

全体では、「わからない」が 32.9%と最も高く、次いで「迷いながらも結局は問題にしない」は 25.0%、「まったく問題にしない」は 23.6%となっている。

人権講演会に参加経験のある方とない方を比較すると、参加経験のある方は「まったく問題にしない」「迷いながらも結局は問題にしない」と回答した方の合計が 59.6%であるのに対して、参加経験のない方は 42.4%である。

図表 13 子どもの結婚相手が同和地区の方である場合の対応

(全体 : n=140 講演会参加あり : n=47 講演会参加なし : n=92, 単位 : %) ※複数回答

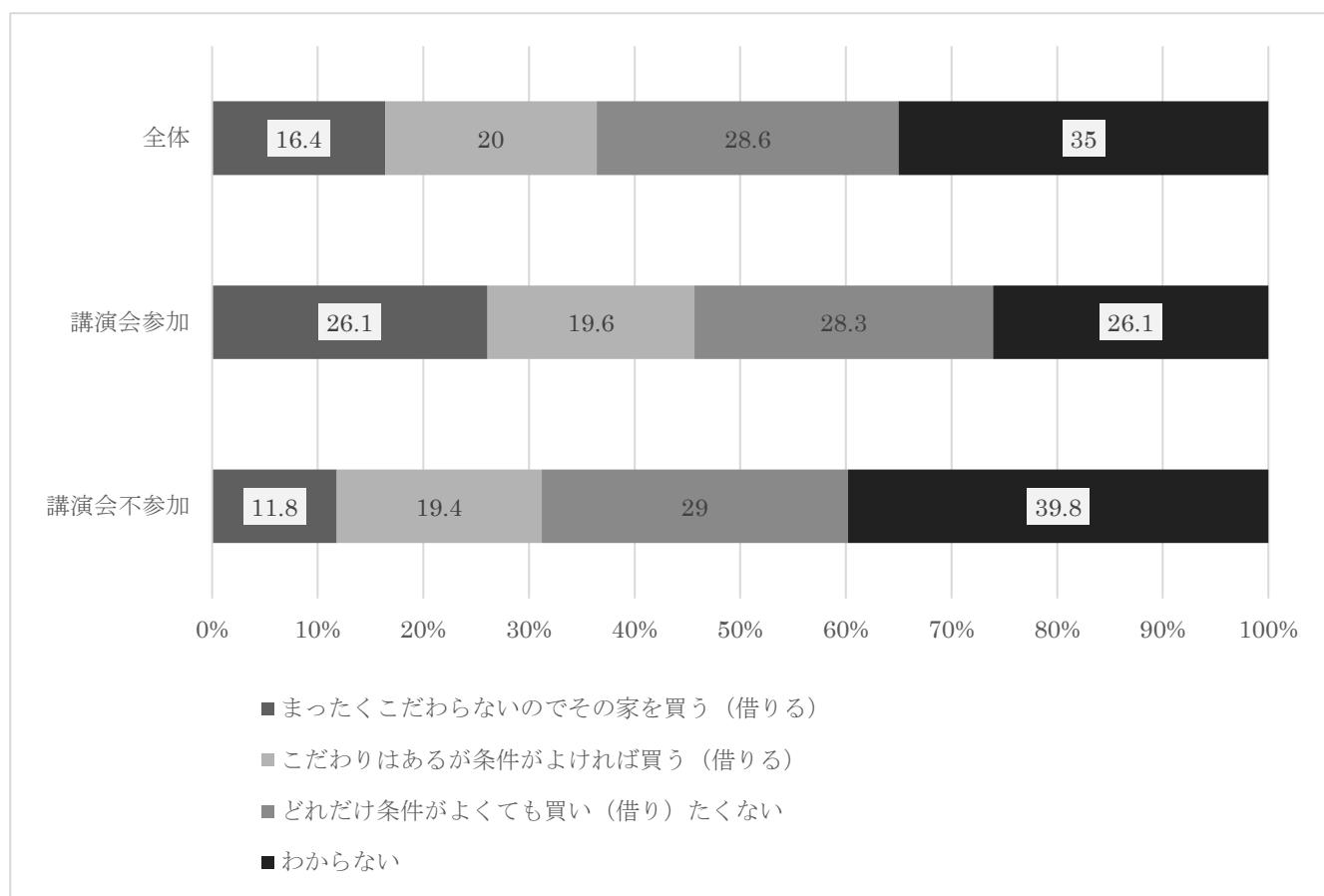


Q14. 仮に、あなたが住宅を探している場合、間取り、交通の便、環境、値段などを確かめある物件を気に入ったとします。この物件が同和地区内にあった場合、あなたはどうしますか。

全体では「わからない」が35.0%と最も高く、次いで「どれだけ条件がよくても買い（借り）たくない」は28.6%、「こだわりはあるが条件がよければ買う（借りる）」は20.0%となっている。

人権講演会に参加経験のある方とない方を比較すると、参加経験のある方は「まったくこだわらないのでその家を買う（借りる）」「こだわりはあるが条件がよければ買う（借りる）」と回答した方の合計が45.7%であるのに対して、参加経験のない方は31.2%である。

図表 14 同和地区内の物件について (n=140, 単位 : %)



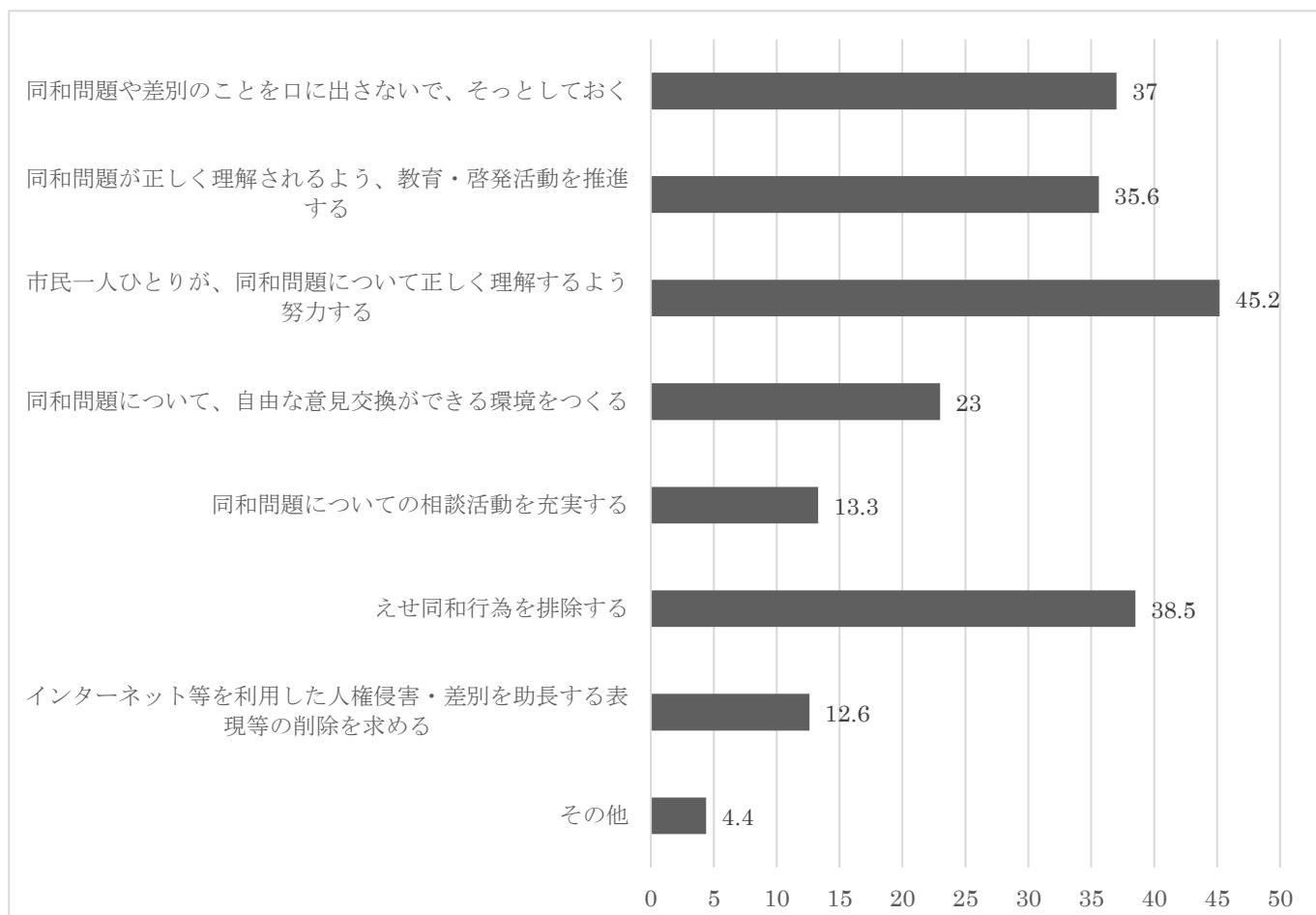
【5】部落差別（同和問題）について

Q15. 同和問題を解決するために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。

「市民一人ひとりが、同和問題について正しく理解するよう努力する」が45.2%と最も高く、次いで「えせ同和問題を排除する」は38.5%、「同和問題や差別のことを口に出さないで、そっとしておく」は37.0%となっている。

また、その他にも“こういったアンケートが問題を助長させる”“全ての人たちが3世代以上話題にせず、政策や活動もしない”などの回答があった。

図表 15 同和問題を解決するために (n=135, 単位 : %) ※複数回答

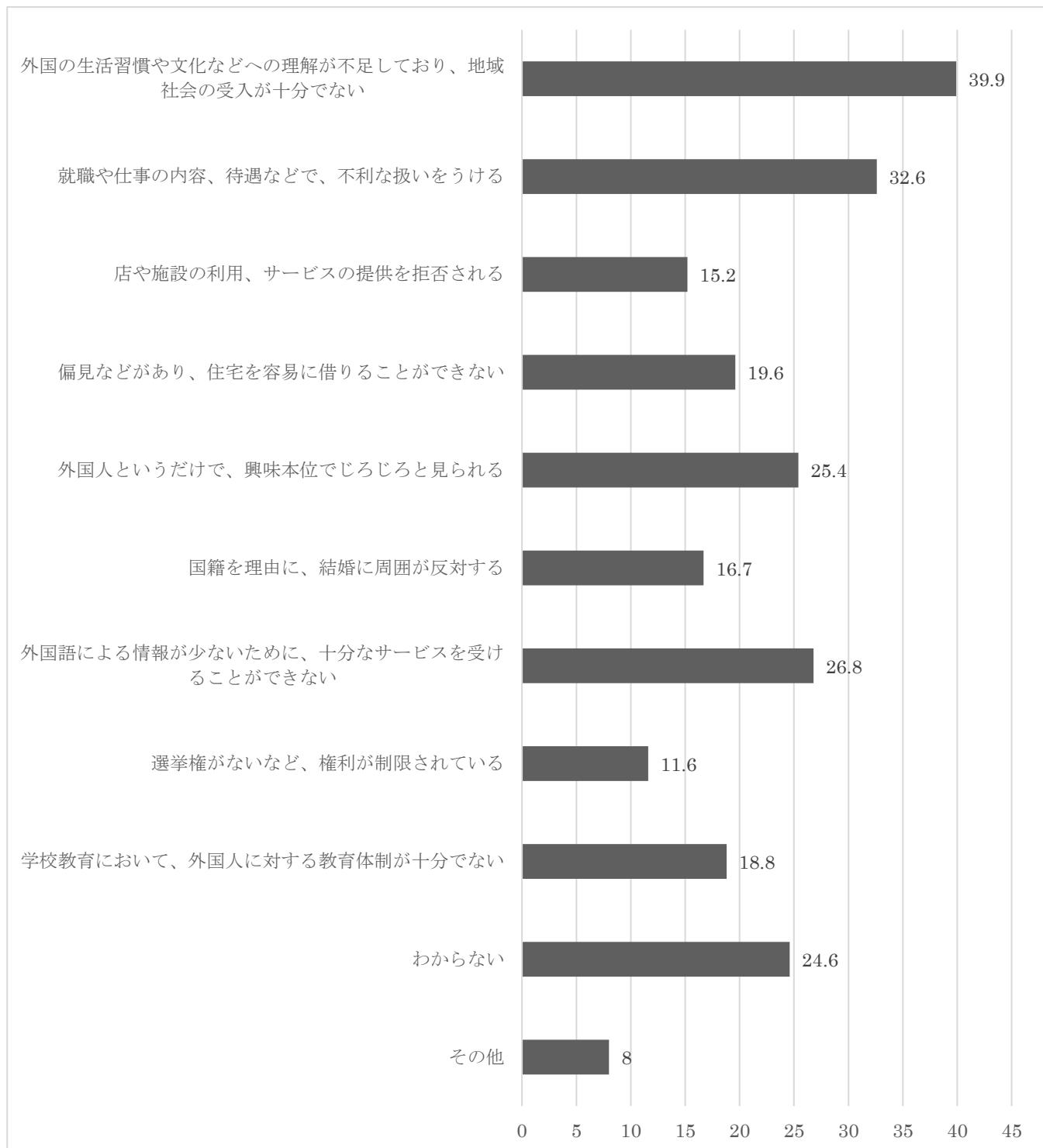


【6】外国人の人権について

Q16. 外国人の人権が尊重されていないと感じる事柄はどのようなことですか。

外国人の人権が尊重されていないと感じる事柄については、「外国の生活習慣や文化などへの理解が不足しており、地域社会の受入が十分でない」が 39.9%と最も高く、次いで「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いをうける」は 32.6%、「外国語による情報が少ないために、十分なサービスを受けることができない」は 26.8%となっている。

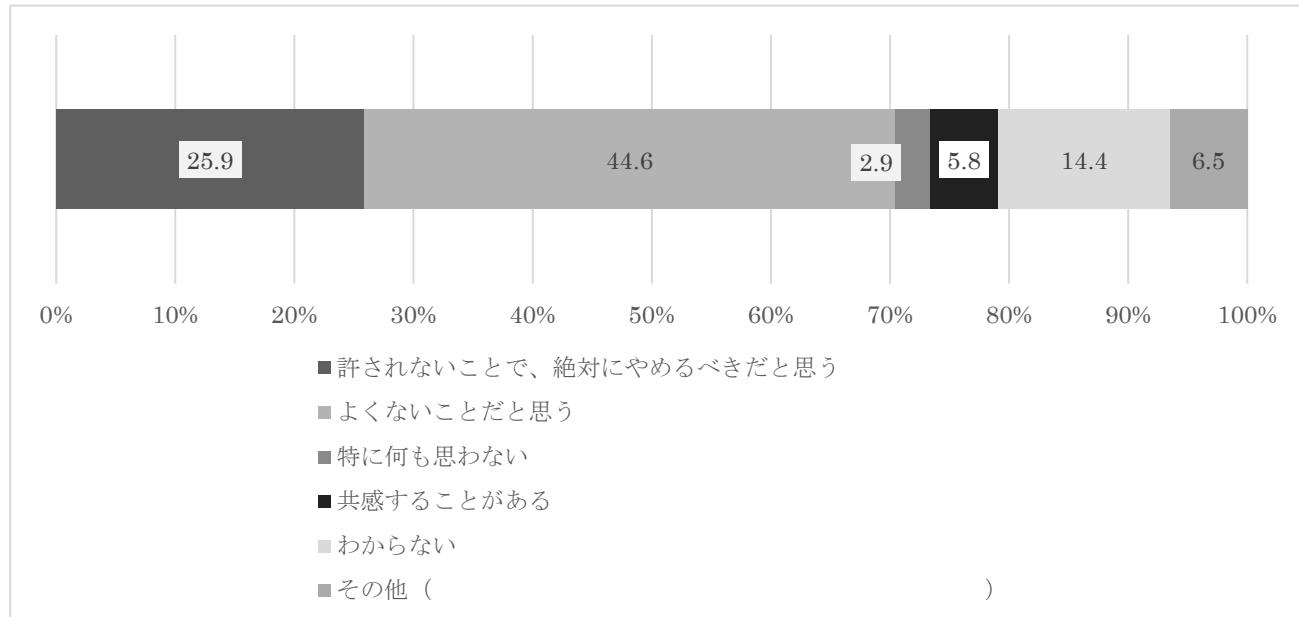
図表 16 外国人の人権が尊重されていないと感じること (n=138, 単位 : %) ※複数回答



Q17. ヘイトスピーチについてどう思いますか。

ヘイトスピーチについては、「よくないことだと思う」が44.6%と最も高く、次いで「許されないことで、絶対にやめるべきだと思う」は25.9%、「わからない」は14.4%となっている。

図表 17 ヘイトスピーチについて (n=139, 単位 : %)

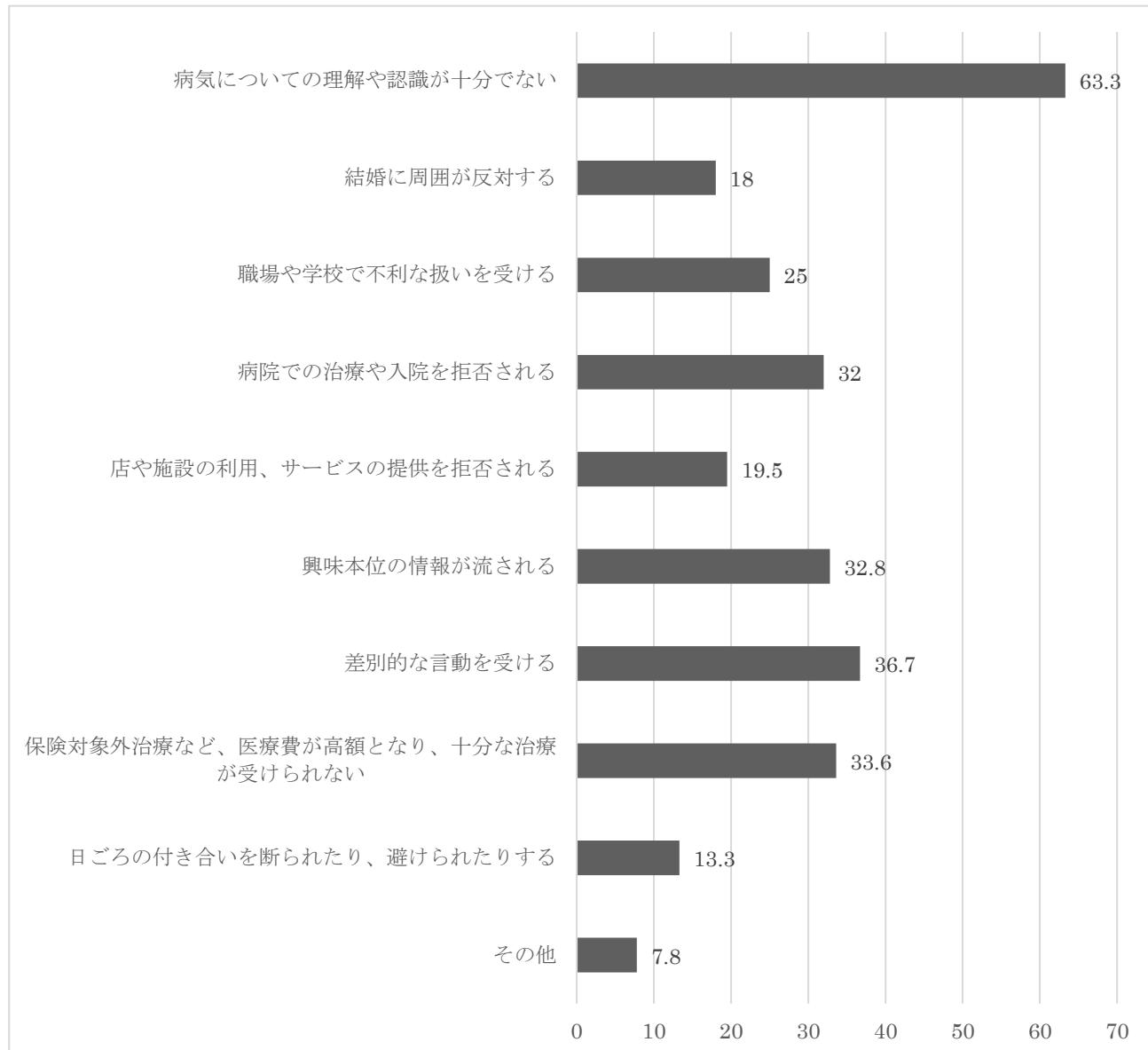


【7】患者等の人権について

Q18. 患者等の人権が尊重されていないと感じる事柄はどのようなことですか。

患者等の人権が尊重されていないと感じる事柄については、「病気についての理解や認識が十分でない」が 63.3% と最も高く、次いで「差別的な言動をうける」は 36.7%、「保険対象外治療など、医療費が高額となり、十分な治療が受けられない」は 33.6% となっている。

図表 18 患者等の人権が尊重されていないと感じること (n=128, 単位 : %) ※複数回答

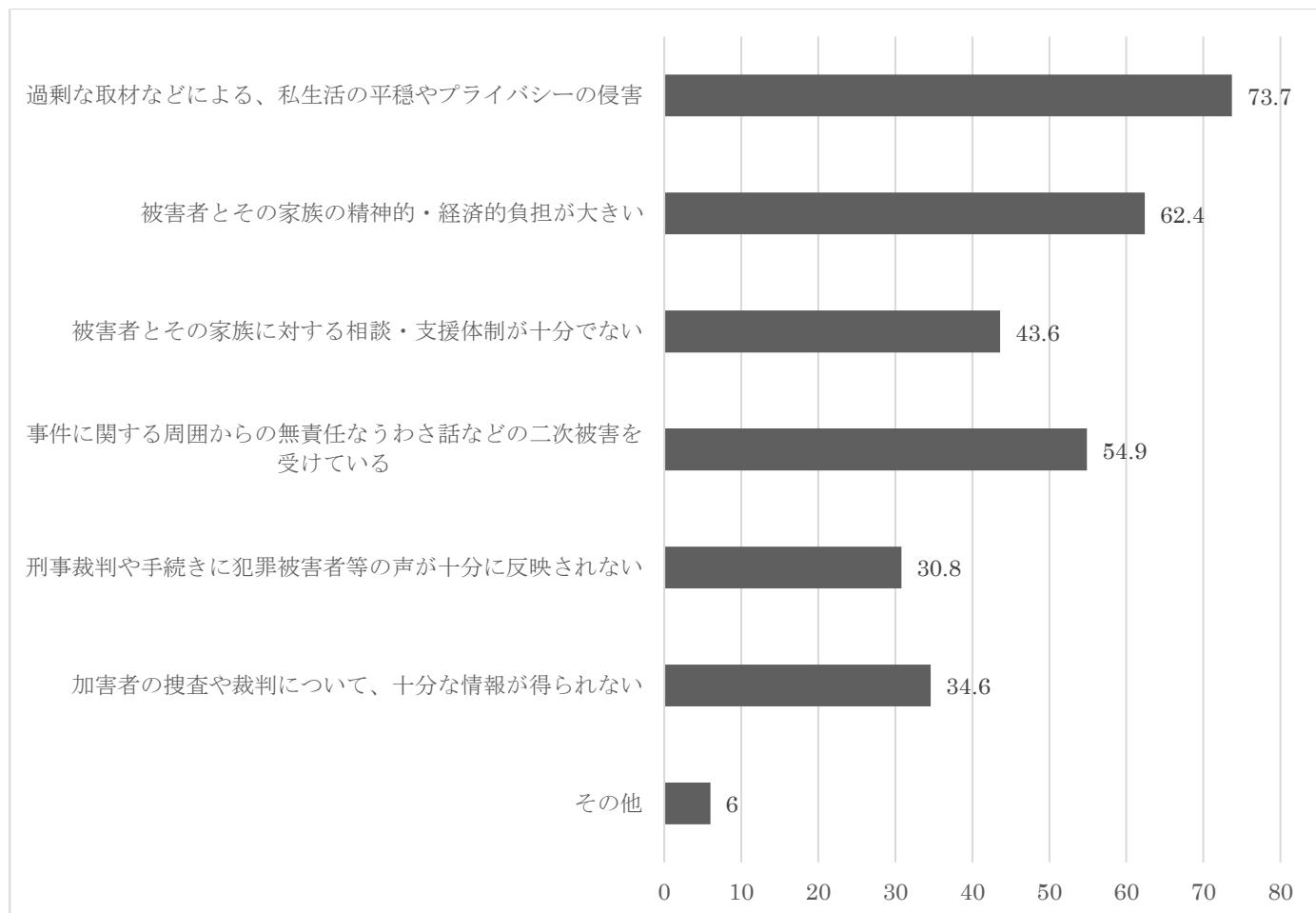


【8】犯罪被害者等の人権について

Q19. 犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じる事柄はどのようなことですか。

犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じる事柄については、「過剰な取材などによる、私生活の平穏やプライバシーの侵害」が 73.7% と最も高く、次いで「被害者とその家族の精神的・経済的負担が大きい」は 62.4%、「事件に関する周囲からの無責任なうわさ話などの二次被害を受けている」は 54.9% となっている。

図表 19 犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じること (n=133, 単位 : %) ※複数回答



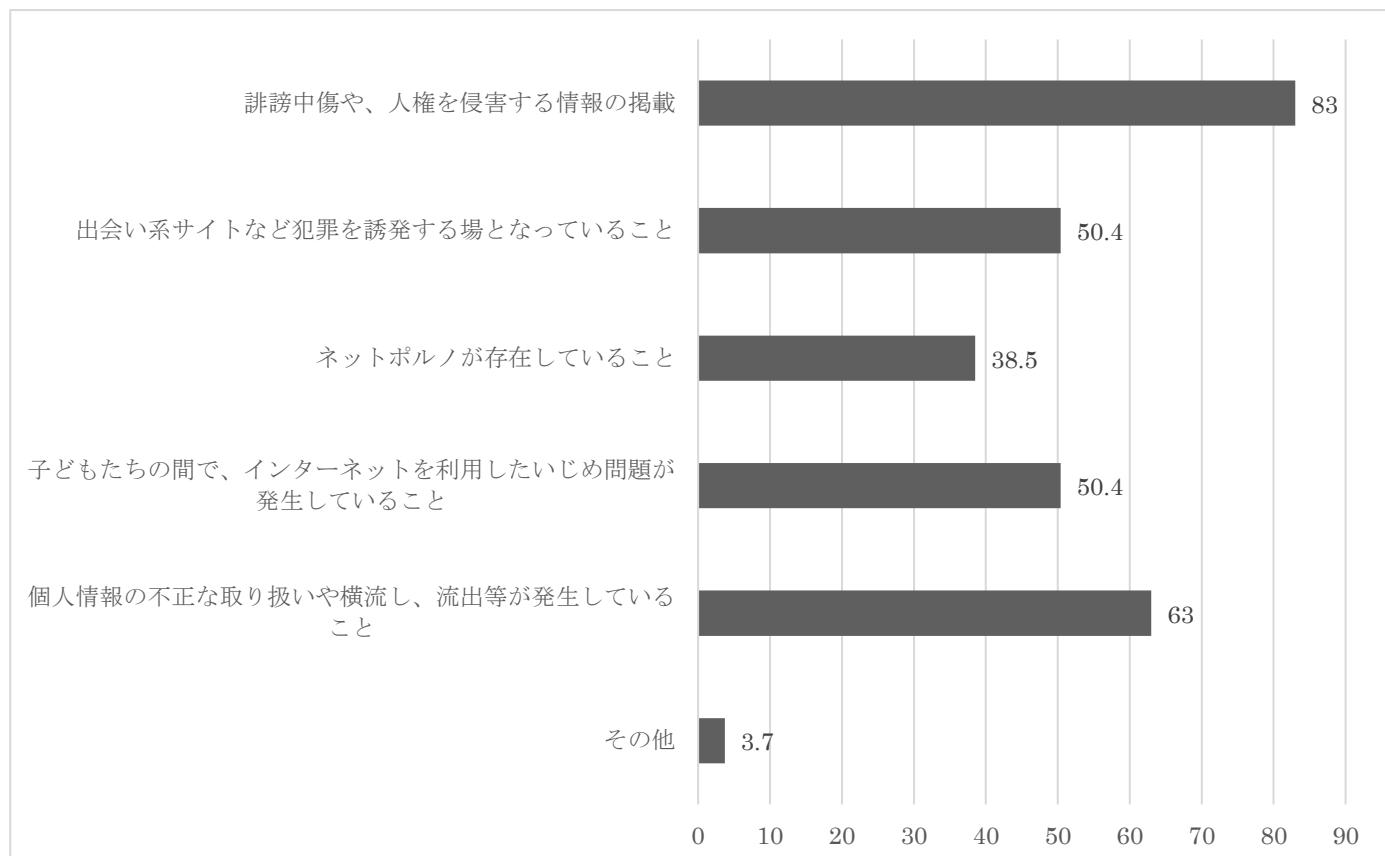
【9】インターネットによる人権侵害について

Q20. インターネットに関して、人権が尊重されていないと感じる事柄はどのようなことですか。

インターネットによる人権侵害について、「誹謗中傷や、人権を侵害する情報の掲載」が 83.0% と最も高く、次いで「個人情報の不正な取り扱いや横流し、流出等が発生していること」は 63.0%、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」「子どもたちの間で、インターネットを利用したいじめ問題が発生していること」はいずれも 50.4% となっている。

図表 20 インターネットに関して人権が尊重されていないと感じること

(n=135, 単位 : %) ※複数回答



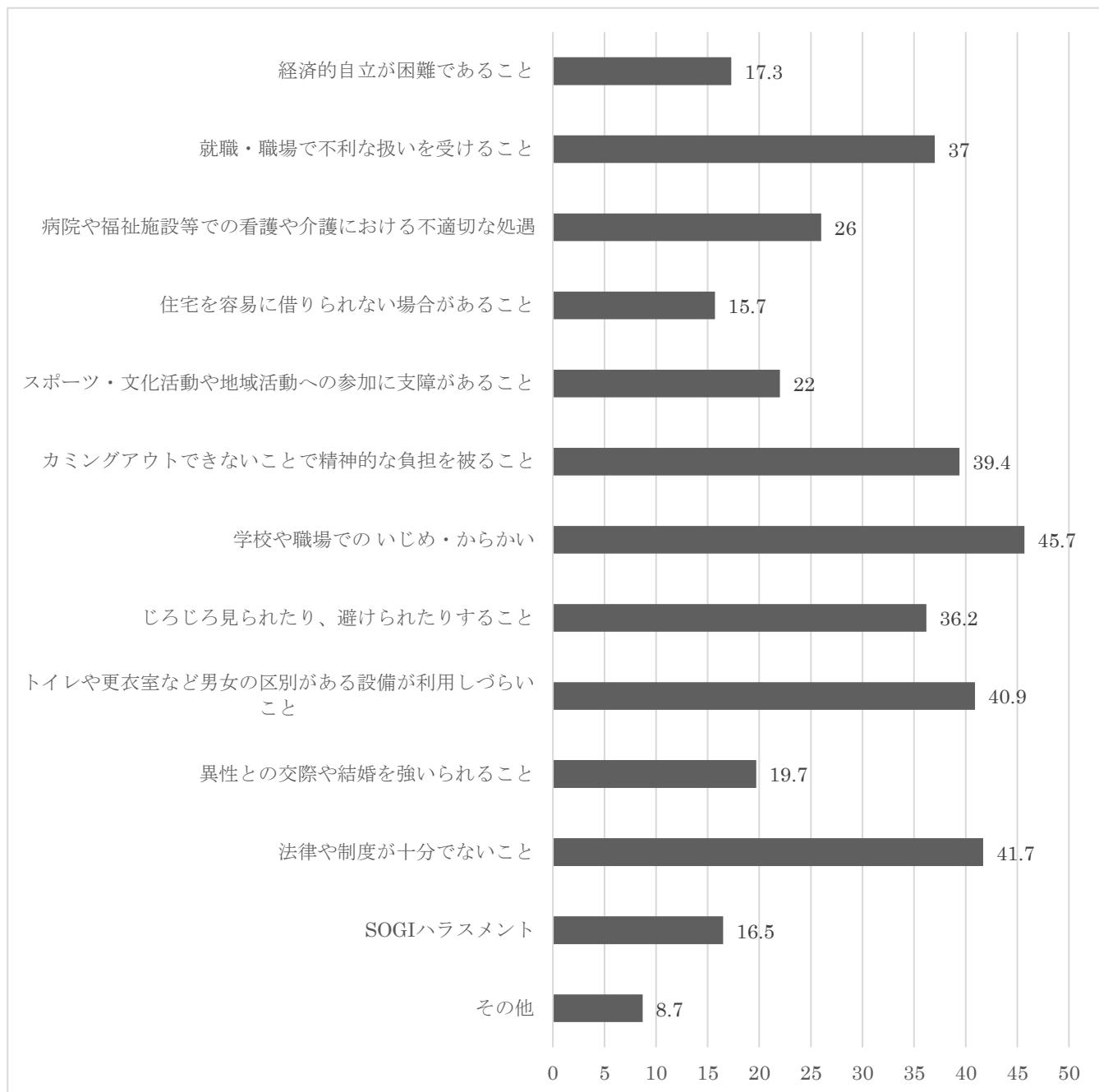
【10】性的マイノリティの人権について

Q21. 性的マイノリティに関して、人権が尊重されていないと感じる事柄はどのような事柄ですか。

性的マイノリティの人権が尊重されていないと感じる事柄については、「学校や職場でのいじめ・からかい」が45.7%と最も高く、次いで「法律や制度が十分でないこと」は41.7%、「トイレや更衣室など男女の区別がある設備が利用しづらいこと」は40.9%となっている。

図表 21 性的マイノリティに関して人権が尊重されていないと感じること

(n=127, 単位 : %) ※複数回答

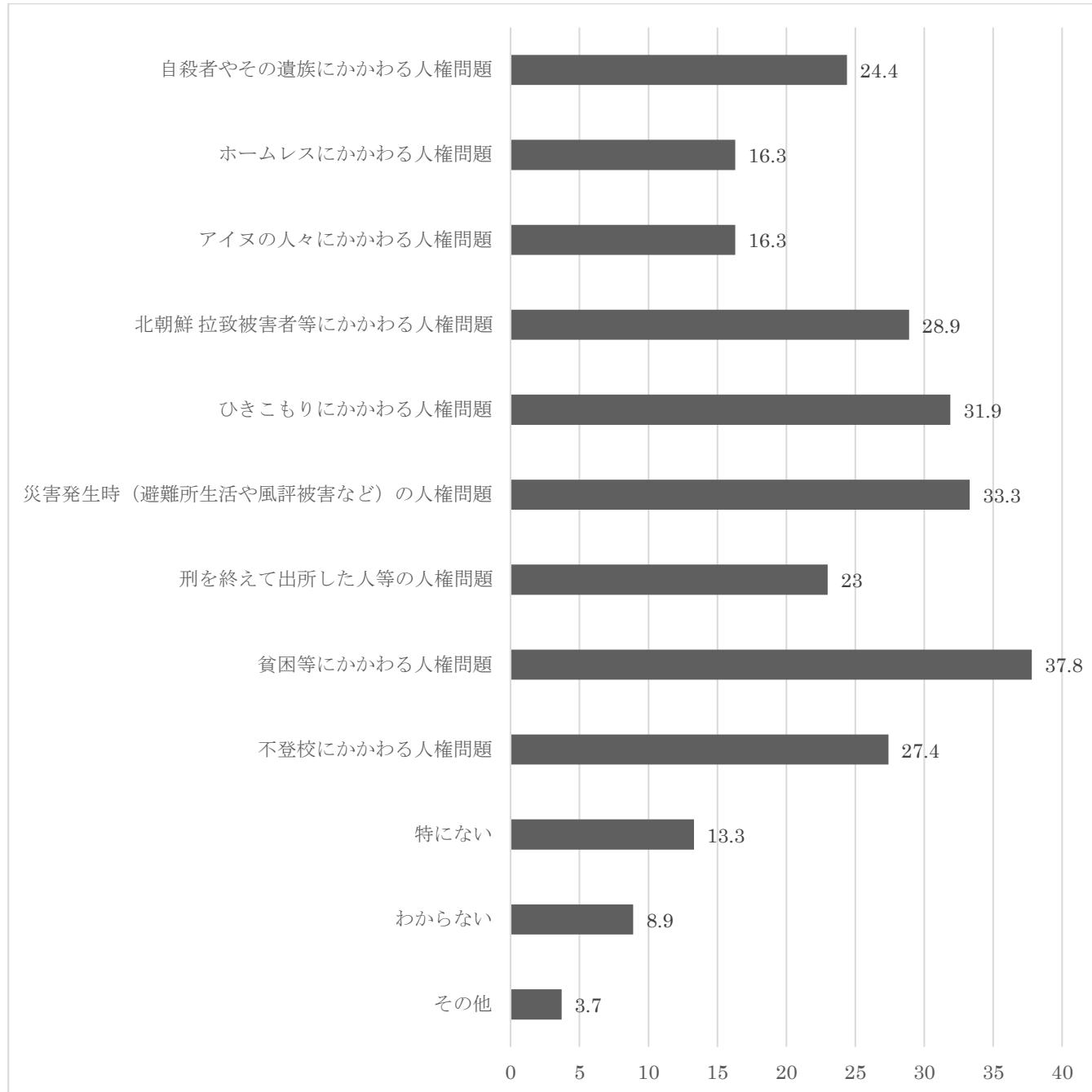


【11】さまざまな人権について

Q22. 今回質問した各分野以外にも、人権にかかわるさまざまな問題がありますが、あなたは次のどのような人権問題に関心がありますか。

さまざまな人権については、「貧困等にかかわる人権問題」が 37.8% と最も高く、次いで「災害発生時の人権問題」は 33.3%、「ひきこもりにかかわる人権問題」は 31.9% となっている。

図表 22　さまざまな人権について (n=135, 単位 : %) ※複数回答

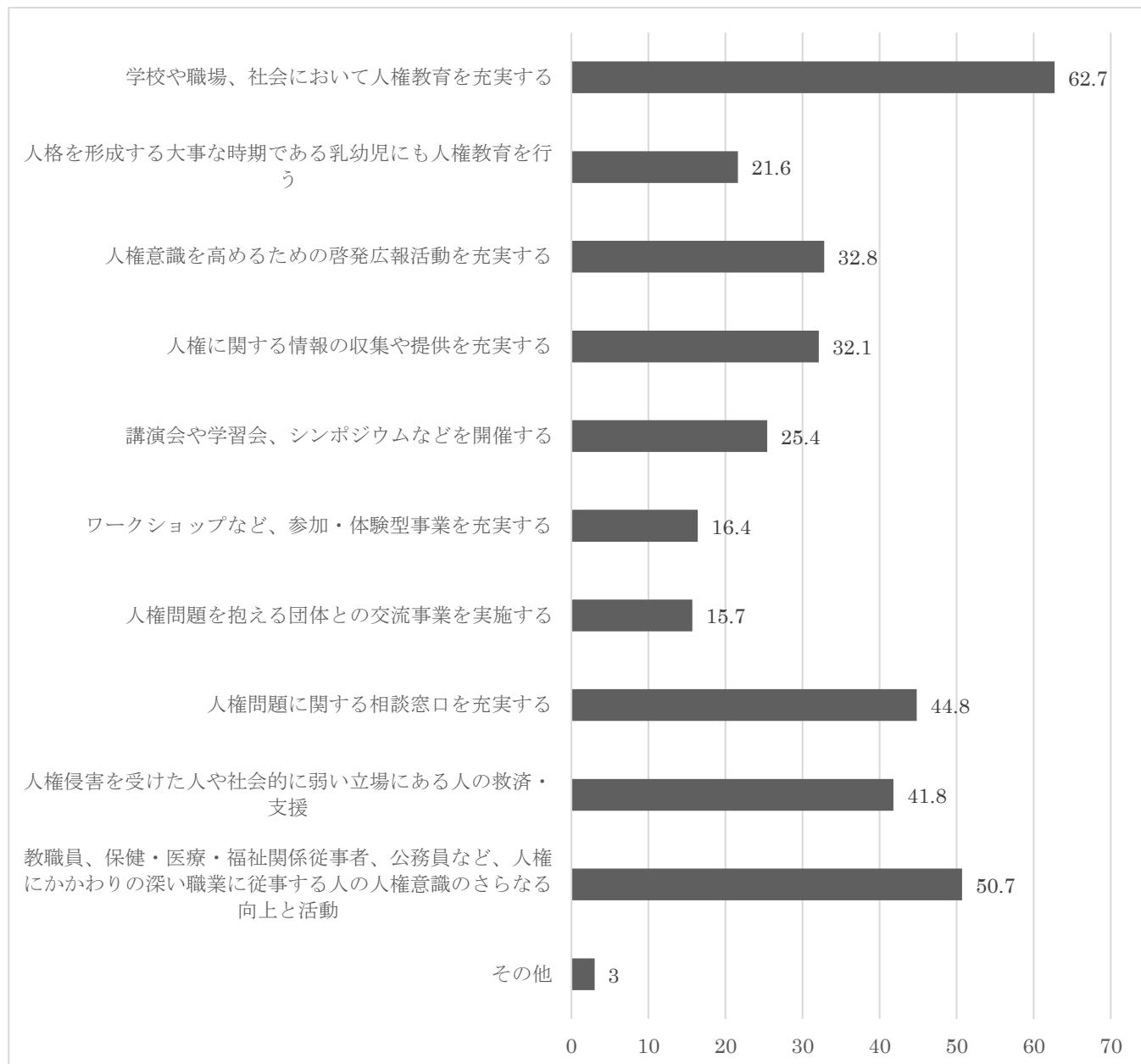


【12】人権問題解決に向けて

Q23. 人権が尊重される社会を実現するため、鳥羽市としてどのような取り組みに一層力を入れる必要があると思いますか。

人権が尊重される社会を実現するため、鳥羽市として力を入れて取り組むべきこととして「学校や職場、社会において人権教育を充実する」が 62.7%と最も高く、次いで「教職員、保健・医療・福祉関係従事者、公務員など、人権にかかわりの深い職業に従事する人の人権意識のさらなる向上と活動」は 50.7%、「人権問題に関する相談窓口を充実する」は 44.8%となっている。

図表 23 さまざまな人権について (n=134, 単位 : %) ※複数回答

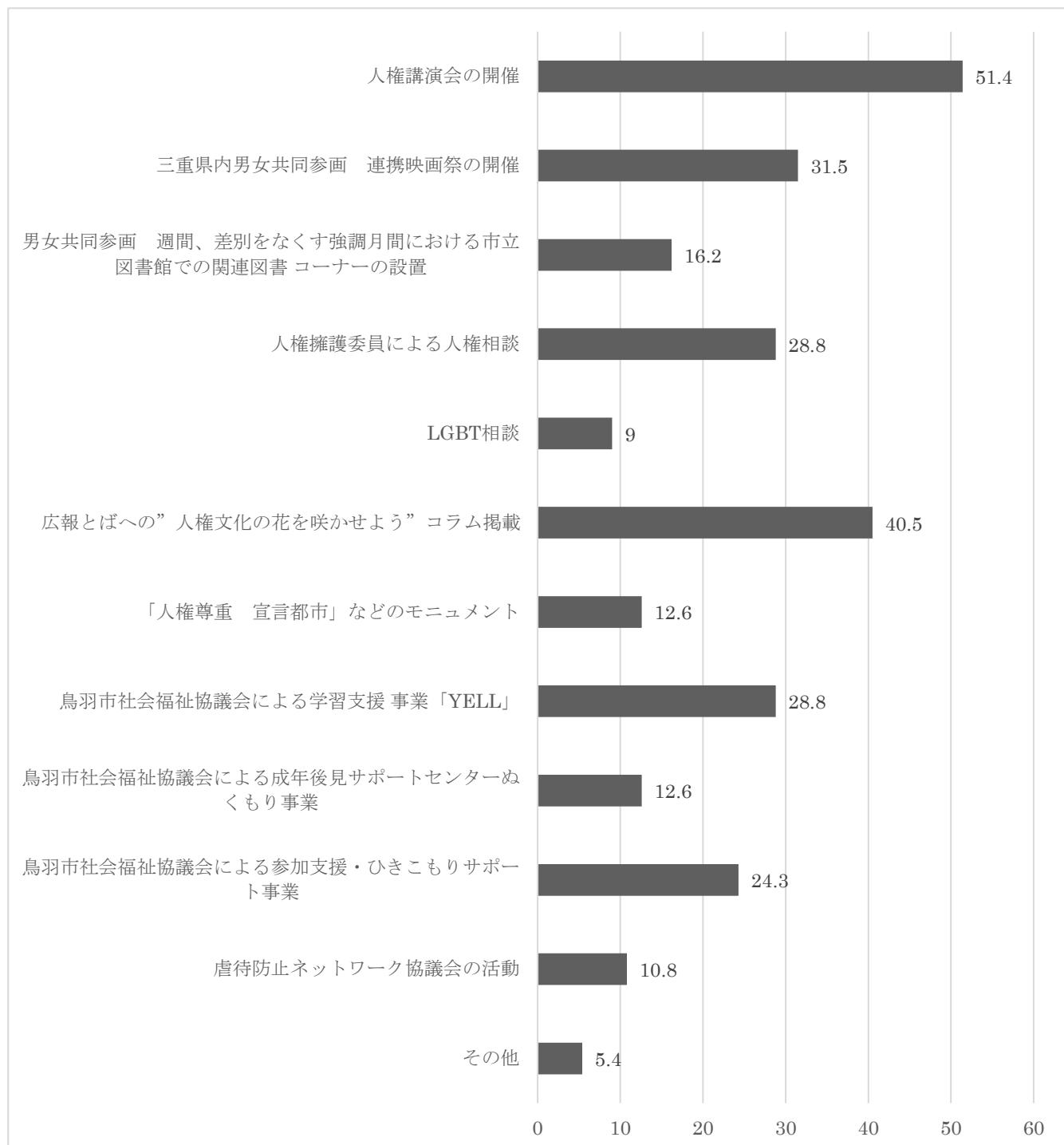


Q24. 現在、鳥羽市では次のような取り組みを行っています。知っている取り組みを選んでください。

鳥羽市で行っている取り組みの認知度としては、「人権講演会の開催」が 51.4%と最も高く、次いで「広報とばへの“人権文化の花を咲かせよう”コラム掲載」は 40.5%、「三重県内男女共同参画連携映画祭」は 31.5%となっている。

令和 6 年度から本運用を開始した LGBT 相談については、認知度が依然として低く 9%となっており、積極的に周知する必要がある。

図表 24 鳥羽市の取り組みについて (n=111, 単位 : %) ※複数回答



Q25. あなたが日頃、人権についてお考えのことや、お気づきのことがあれば、お聞かせください。

一部を抜粋により掲載します。

- 人権問題解消には深い理解が必要
- 学校でのいじめ、自殺まで追い込むほどのいじめ（子どもも大人も）
- 外国の方も日本人と同様のサービスが受けることができて安心してくらせるうこと
- 差別のないみんなが平和で豊かに暮らせる社会を希望
- 誰もが人権保護の重要性を理解する必要がある
- 人権に関することがどうかは不明ですが・・・・・高齢者が住みやすい居心地のいい鳥羽市を期待しています。安心して生活するために人口減少に歯止めをかけるためにもひとり暮らしの人にとって肩身のせまい思いをすることなく夢をもって余生を送れますように。厚生労働省が力をようやくいれ始めた人生週末への支援の整備の充実よろしくお願ひします。そのことが人権を高めていくことにつながっていく道だと思います。◎他にない市町村を目指し ファイト トバ ガンバレ！！ 私はこの鳥羽が大好きです。
- 少子化、人口減少対策に力を入れてほしい
- 他の方々の考えも知りたい
- 世界は悪い方向に進んでいると思います。各国（大国）は自国の利益ばかりを中心に考え、弱国を利用し自国（大国）だけが大きく成り、世界を動かそうとしているのが現状です。我国もそうですが、全体が協調性をもって、お互いが人権を尊重し意識を持って行かなければ前進はないと思います
- 今、年長者が多数ですので、年代を越えて正しい人権意識が広まってほしい
特に女性の人権が大切にされていないことに気づかなかったり諦めてしまったりする
- 人権保護重視は根本的に重視すべきであるが、人権保護団体による度が過ぎた人権擁護主張や報道による過度な問題提起には賛同できない。
- 一緒に人間が差別するのは、いけないが、差別される方も何も言わないからイジメや引きこもりがあると思う、言い返す事を教えたらどうかなあ！
- 人権とは難しい。個人の無責任な発言が多すぎる。議員立候補者、インターネット等、言った者勝ち状態。今回の質問は外国人に配慮すべき物が多いが、彼らが日本を理解し尊重しているのか？そうではない。逆だ。かれらの国の理論で、日本で生活している。（例：富士登山、高速道路逆走、ごみ出し、木の伐採等）差別は悪だが、正悪良否は必要！この判断が難しい。広く意見を聞くべき。LGBTとは何ぞや。日本語で説明していただきたい。
- 日々の生活で、人様の事まで考えられません。

鳥羽市 人権に関する市民意識調査 調査結果報告書

鳥羽市

令和7年10月

鳥羽市役所 市民課 人権・市民交流係

〒517-0011

三重県鳥羽市鳥羽三丁目1番1号

TEL : 0599-25-1126